



JA西春日井 自己改革への 取組



 西春日井農業協同組合





JA西春日井では、「JA西春日井農業ビジョン」の目標達成に向けて、3つの個別ビジョンを設定し、それを3本の柱として、自己改革を進めています。

JA西春日井農業ビジョン

農業者

新規就農者の確保と多様な担い手に対する育成・支援に取り組めます。

農地

行政と連携し、都市農地を「食」と「農業体験」と「環境」を通して農地の保全・有効活用に取り組めます。

生産・販売支援

農産物の品質向上と販路の確保・産直施設の充実を図り、地産地消の促進に取り組めます。

JA西春日井 REPORT DIGEST

自己改革のこれまでの成果をダイジェストでご紹介します。

Action
01

アグリスクール

受講生 **48**名 P2へ

Action
02

担い手農家訪問支援

訪問回数 **1,784**回 P2へ

Action
03

田んぼアート

参加者 **2,029**名 P3へ

Action
04

収穫体験

参加者 **500**名 P3へ

Action
05

産直部会

会員数 **129**名 P4へ

Action
06

契約出荷

販売金額 **1,091**万円 P5へ

Action
01

アグリスクール

次世代の担い手育成のため、平成29年より開講したアグリスクールは、年間20回程度のカリキュラムで行われます。

講習内容は15品目以上の野菜について、土づくりから収穫までを実習と講義によって学びます。

現在では、受講生のうち7名が産直部会会員としてアグリマルシェはるひに出荷しています。

アグリスクール受講生

平成29年度～令和元年度

48名

うち産直部会会員に

7名



Action
02

担い手農家訪問支援

営農得意先係による出荷組合や組合員宅へ出向く体制を強化し、情報収集や情報提供を行うことで、担い手農家の育成・支援に取り組みました。

また、産直部会への栽培指導や、作物別の栽培講習会を定期的で開催しています。

担い手農家訪問支援回数

平成29年度 625回

平成30年度 657回

令和元年度 502回

講習会開催実績

平成29年度 5回

平成30年度 11回

令和元年度 16回



Action
03

田んぼアート

平成28年より北名古屋市などと共催し、地域住民とともに田んぼアートに取り組んでいます。田んぼアートを通じて、農地の持つ多面的機能の重要性を伝えています。

会場では、産直施設「アグリマルシェはるひ」の出張販売を行い、地域住民に地元産野菜のPRを行いました。



田んぼアート参加者数

平成28年度 **415**名

平成29年度 **486**名

平成30年度 **630**名

令和元年度 **498**名

Action
04

収穫体験

農業祭のイベントや住宅ローン借入者を対象とした親子収穫体験を開催しました。

また、夏休みにバスで産地に出向き、親子収穫体験ツアーを開催しました。

管内の小学校においては、田植え・稲刈りの稲作体験や管内の特産品であるイチジクの収穫体験を開催するなど食農教育を行い、地域貢献活動に取り組みました。

収穫体験参加者数

平成29年度 **2回 149**名

平成30年度 **2回 146**名

令和元年度 **3回 205**名

小学生稲作体験・イチジク収穫体験

令和元年度 **4校 259**名



Action
05

産直部会

平成30年に農産物の販売力強化に向けた取組として、産直施設「アグリマルシェはるひ」をオープンしました。

産直部会を設立し、有利販売に向けて消費者ニーズにあった品目等について研修会を行いました。会員数は増加しており、地元産野菜のさらなる充実を進めています。

アグリマルシェはるひ来店客数

平成29年度 令和元年度
0名 → 42,591名

新たに開発した6次産業化商品は、管内で採れた農産物を使用し、地産地消に取り組むとともに地元農産物のブランド力を高めています。



6次産業化商品

宮重大根さくら漬・かつお風味しょうゆ漬

平成29年度 令和元年度
0個 → 2,429個

信長玄米茶

平成29年度 令和元年度
0個 → 1,542個

グリーンカード会員数

平成29年度 令和元年度
7,910名 → 13,317名



Action
06

契約出荷

平成29年より市場の価格変動に左右されない固定価額で定量出荷する契約出荷販売を勧めています。現在は、この取組に賛同した生産者が特産品の3品目に取り組んでいます。

また、病気に強い品種や供給が少ない時期に収穫できる品種などの試験栽培を実施し、より有利な販売ができるよう作物別の栽培指導を行いました。

こうした取組を行うことで農家組合員の安定的な所得を見込むことができます。



 **ホウレンソウ**

生産が増える秋に値崩れを防ぐために、加工用として契約出荷を行っています。加工用のため、束ね作業などが省力化され、市場出荷に必要な資材費の削減に繋がります。



 **エダマメ**

供給が少なくなる7月中旬から9月上旬に契約出荷をしています。付加価値を付けるため、枝付きの状態ですべて鮮度を保ち販売します。

 **パセリ**

安定的な供給をするとともに通常の出荷単位から小袋に分けるひと手間を加えることで、付加価値を付けて販売しています。

契約出荷販売金額

平成28年度 令和元年度
0万円 → 1,091万円

契約出荷者数

平成28年度 令和元年度
0名 → 20名

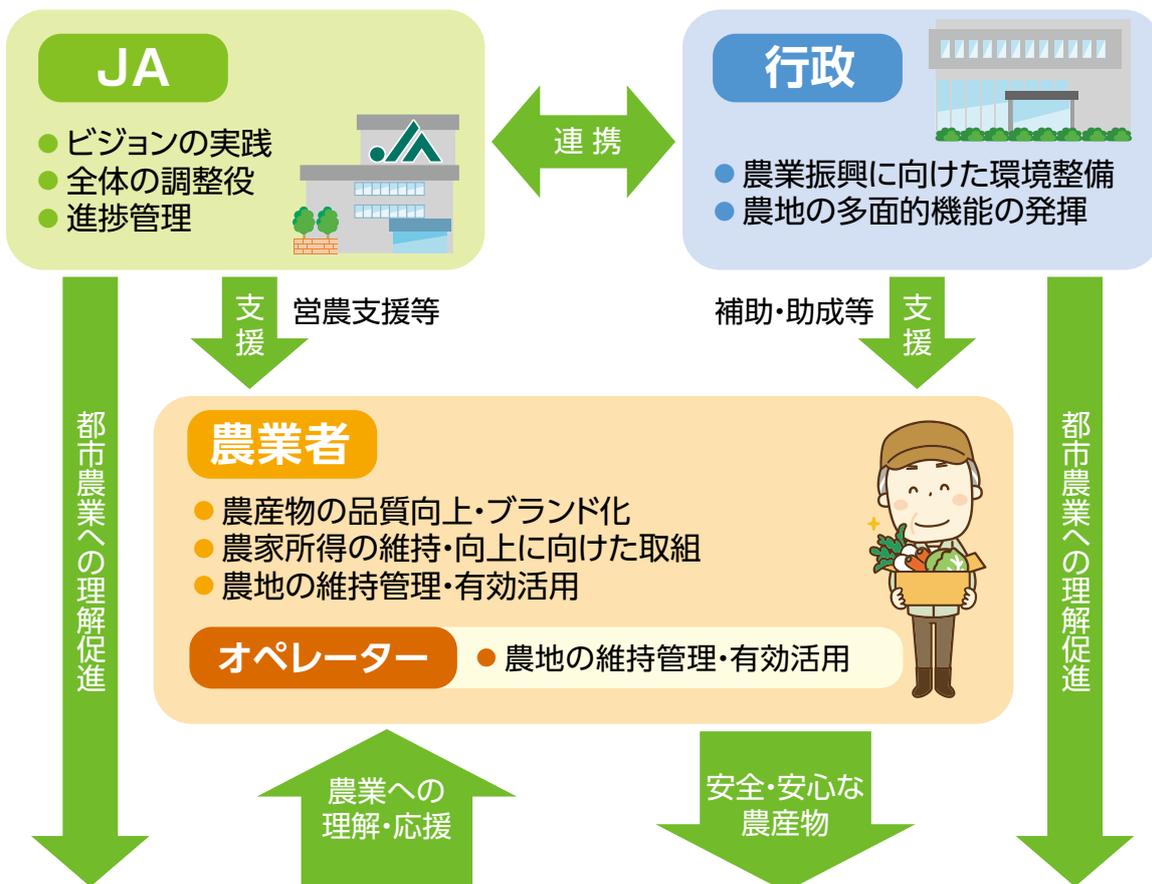
契約品目

平成28年度 令和元年度
0品目 → 3品目
(ホウレンソウ・エダマメ・パセリ)



農業ビジョンの実現に向けた各組織の位置付け

農業ビジョンを実現するためには、農業者、准組合員、地域住民、JA、行政がそれぞれの役割を果たすことが必要となります。ここでは、それぞれの役割を以下の関連図で示します。



当組合では、准組合員を『地域農業の応援団』と位置付けています。地域農業への理解者、また、地元産農産物の消費者としてJA組織には欠かすことができない存在です。

こうしたなか、准組合員に農業への理解をよりいっそう深めていただく取組として、准組合員向けの広報誌「菜ないろ!」を発行しました。そのなかで、アグリマルシェはるひ・グリーン西春日井で利用できる「クーポン券」の配付を行い、地産地消への取組を進めています。

一方、田んぼアートや収穫体験、また、小学生の農家見学など次世代への食農教育にも力を入れています。

自己改革には、営農部門はもちろんのこと、金融部門においても、農業応援定期貯金を実施するなど、組合が一丸となって取り組んでいます。





JA西春日井農業ビジョン

農家所得の向上と都市農業の 持続的発展に努めます

当組合では、組合員の皆さまよりいただいたご意見・ご要望を事業計画に反映させ、JAと組合員の皆さまが一体となって自己改革を進め、魅力ある地域農業の実現に取り組んで参ります。



 西春日井農業協同組合



Facebook

〒481-0033 北名古屋市西之保南若11
TEL (0568)23-4001(代)
URL <https://www.ja-nishikasugai.com/>
E-mail info@ja-nishikasugai.com

(令和2年9月作成)